

第1期子どもクリエイター1年間の活動記録。

子どもたちが大阪市の地域情報誌『うっこ』創刊！

2023年1月から7月まで毎月1回活動し9月に1冊の雑誌を出版しました。

子ども地域情報誌プロジェクトは大阪市の子どもクリエイターたちが、地元を取材し地元の魅力を作る非営利活動です。子どもたちがプロのクリエイターから学びながら、子どもたちの力で地元を取材し、撮影し、記事を書き、編集し地域情報誌(初回は東住吉区版)を出版します。キッズライターは文章で表現！キッズカメラマンは写真で表現！キッズイラストレーターは絵で表現！東住吉区を取材して発見したわくわくを、自分たちの力で地域情報誌で『伝える』にチャレンジしています。子どもの好奇心と大人の本気が地域を繋ぎ、子どもたち自身の未来そして地域や人やお店にスポットライトを当て、創造力の育みと地域資源の活用を目指しています。

2023年1月14日(土) ディレクターとデザイナー講座&冊子のロゴを作ろうワークショップ。

「いっちょおもしろい事をやろう！」18人のキッズクリエイターと9人の大人クリエイターが大阪市を盛り上げます。大人と子どもの感性がまざりあい、ジャスのセッションのように、大阪市東住吉区を取材して発見したわくわくを、自分たちの力で地域情報誌伝えていきます。

まずはアイスブレイクゲーム。今日初めて会う子らもいるので、ちょっとオリジナルの自己紹介ゲームをしました。好奇心と想像力の塊の子も達ですので、超大盛り上がり！盛り上がりすぎて一瞬でアイスブレイクとなりました。

続いてディレクター(宮本司さん/スターファクトリー)講座『雑誌ってどうやって作るの?』。雑誌と言っても有料の物無料の物、大きさ、紙質など様々です。またテーマによって見せ方が違ったり、構成の仕方も変わってくるお話、多くのクリエイターが携わり、それぞれ役割や制作内容も違うというお話に、子どもたちも興味津々でメモしたり質問したり積極的。「ほんまや大きさが違う!」「こっちの方が光ってる!」「この本めっちゃ薄い。コロコロコミックの方が分厚いで!」雑誌と言うものは手に取ったことはあっても、作る過程や読む人に伝えるという感覚を改めて想像した様子でした。

最後はデザイナー(寺嶋梨紗さん/スターファクトリー)講座『雑誌のデザインのお仕事って?』。絵や写真の配置、イメージに合わせて切り取ったり、文字の大きさも見める人がどこに1番に目が行き、どういう印象を持つかまで考えてデザインしているお話、ロゴマークもイメージに合わせて柔らかさを出したり、鋭さを出したり、イラストにしたり工夫するお話に、デザインに興味ある子も多いので真剣にメモしている姿が印象的でした。今回の講座では「どうやって人に伝えるか」をたくさん学んだ子どもたちでした。

そして実際に今回作成する冊子のタイトル『うっこ』のロゴマークを制作するワークショップも行いました。





2023年2月11日（土）東住吉区の魅力探し&編集・インタビュー・カメラの講座と盛りだくさん。

第2回目の活動では、チームに分かれて子どもたちが調べて来た東住吉区の魅力を出し合います。

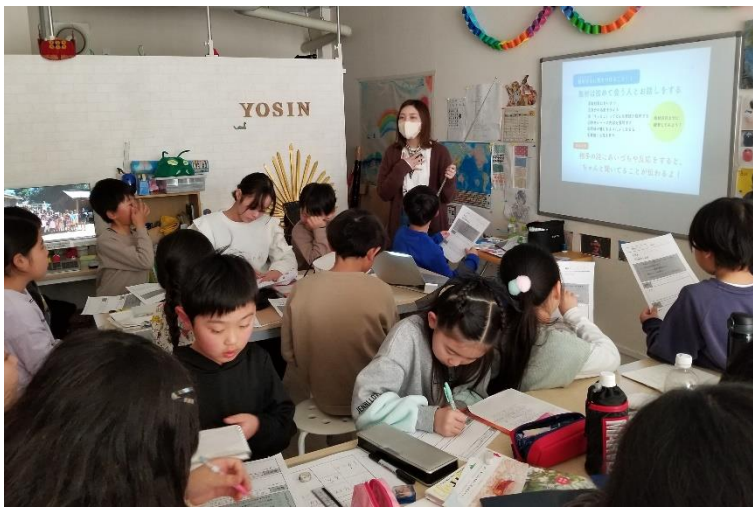
アドバイザー（大中俊明さん/朝ごはんラボ）と一緒に遊ぶところやお店、人や会社、「この川にはめっちゃ魚おるねんで！」「このお菓子屋さんのアイス50円！」「子どもたちしか知らない路地裏のおもしろ情報などなど、調べて来たたくさんの情報からもっとおもしろく、もっと広くアイデアを膨らませて行きました。そして「こんなこと取材したい」「こんなこと伝えたらおもしろい」を整理しプレゼン。それぞれのチームカラーが彩られました。

お昼ご飯を食べたあとはプロの講座&ワークショップ3連続と盛りだくさん。まずはディレクター（宮本司さん/スターファクトリー）より『ミニ編集にチャレンジしてみよう』。子どもたちも初めてでドキドキでしたが、教わった7つの技を駆使しながら自分なりに自由に編集にチャレンジしました。その中でアクセントとしてどう自分のアイデアを表現するかでは、「いいこと思いついた！」が連発していました。続いてはライター（宮崎真歩さん/スターファクトリー）より『取材インタビューのやり方』を学びます。「みんなインタビューって難しいと思う人〜?!」全員手を上げます。「実はお話がちょっと苦手やな〜と思ってる子でも、めっちゃ上手にできる方法があるんです」。ちょっとしたおもしろ動画を見たり、宮崎さんの魔法のような方法に子どもたちもノリノリ。子どもならではの素直な感性や目の付け所が秀逸でおもしろい質問がたくさん作れました。「あれ、インタビュー簡単そうやぞ！に気持ちが変わった人〜?!」「うん余裕やな」と全員手を上げていました！

最後はカメラマン（説田浩之さん）より『カッコイイ写真の撮り方』です。公園に移動してとにかく楽しく撮ってみよう！一眼レフを抱え子どもたちも走り回ります。木に登る子、滑り台の上でポーズをとる子、景色を撮る子！もう一歩前に入る事で、もう少ししゃがむ事で、見違えるように写真がカッコよくなるアドバイスと体験に目を輝かせていました。

どの講座でも共通していますが、表現する為には“これ!”といった確実な正解やテクニックはありません。大切なのは『自分で考える』『自分で工夫してみる』『正解は自分で決める』これを胸に抱いて3月はいよいよ取材、記事作りにチャレンジです！





2023年3月11日（土）わくわくどきどき取材スタート！東住吉区の魅力をしっかり伝えていきます。

さあよいよ今月から東住吉区の魅力を伝えるべく取材スタートです。

今まで学んだことを自分なりに生かしながら Let'go！まず初めての取材先は『大阪市自然史博物館』さんと、『冒険の森 NAGAI』さんが、この教育プロジェクトにご協力して下さいました。

初めての経験で、最初は子どもたちも戸惑いだけで、「どうやったら良いんやろ？」「上手くできるかな…」でしたが、約2時間の取材経験の中でみるみる表情がたくましくなっていき自覚が芽生える姿を感じました。たくさん質問したり、メモしたり、子どもたちなりに雑誌にどう載せるかを想像しながらの取材が出来ました。帰りのバスでは自発的に「なんかほんまの大人の仕事みたいでドキドキした！」「もっと取材の準備をしておけばよかったなあ」などの会話があり、次につながる発見もあった様子でした。

取材が終われば今期最後となるプロ講座です。まずは画家（品川美香さん）講座。今回絵の講座ではイラストや雑誌用の絵のテクニク的な事ではなく、『自分と世界』をテーマにして発想力や想像力に視点を置いたドローイングを行いました。まず自分を知ってその周りの世界を取り込んで行き、どう自分を表現するか。なかなか難しいテーマですが、子どもたちすらすら〜とペンを走らせ哲学的な世界観も生み出していました。実際冊子の絵も上手く描くではなく、読者を想像しながらも、どう自分を表現するかに視点を置いて欲しいです。そして最後はライター（宮崎真歩さん/スターファクトリー）より『記事の書き方・キャッチコピー』講座です。今日の取材のネタを使って記事をパズルのように組み合わせる方法や、おもしろキャッチコピー作り合戦をし大盛り上がりでした。

これで7つのプロ講座は修了！みんな普通の小学生からキッズクリエイターになったはず？！創刊に向け前進していきます。





2023年4月8日（土）たくさんの場所に取材に行きました。大阪市内を駆け回り中！

今月はたくさんの場所に取材に行きました。日に日に子どもたちの創造力が大成長中です！

先月の初めての取材体験で感じた事を今回工夫したり修正したりと、自分で考えて想像して行動する姿がありました。

貴重すぎる体験の連続に子どもたち心の底から晴れ晴れした表情で、各チーム大興奮で取材先から帰ってきて、早速記事作りにも取り組みました！『ヤンマーマルシェ』さん、『ヤンマースタジアム長居』さん、『ヨドコウ桜スタジアム』さん、『ピンポン食堂』さん、『スタジオケイブ』さん、『石窯パンの店ゴッホ』さんが教育プロジェクトにご協力して下さいました。





2023年4月16日（日）影山ヒロノブさんが教育プロジェクトにご協力してくださいました。

今日は特別取材にて、ヤンチャボーイとオチャメガール6名で岡山県に伺いました。

インタビューさせて頂くのは、東住吉区が誇る自慢の人！世界で活躍される歌手の影山ヒロノブさんです。「子どもたちのために出来ることがあれば是非」とライブ前の貴重なお時間を頂きました。

大盛り上がりの時間となり、子どもたちインタビュー講座で学んだことも活かしながら、フリートークで質問を繋げたり、話を膨らませたり工夫する姿がありました。「東住吉区での思い出場所はありますか？」「小学校時代はどんな子どもでしたか？」「音楽は得意でしたか？」「子どもたちならではの素直な質問から、「ドラゴンボールの曲を初めて見た時どう思いましたか？」「好きなキャラクターいますか？」「ドラゴンボールネタ、「子どもたちに伝えたい想いがありますか？」お！と思う質問まで、とても貴重な取材ができました。

影山ヒロノブさんは、笑顔ウルトラZで太陽のような元気の塊のような方で、「いい雑誌作ってや！」「はいっ！」子どもたちも感銘を受けた1日でした。



2023年5月13日（土）取材も大詰め。子どもたち自分たちの持つ力を超えてきています！

今月もたくさんの場所に取材に行きました。『うめだ印刷株式会社』さん、『長居公園』さん、『ゴールドファラフェル』さん、『山阪神社』さんが教育プロジェクトにご協力して下さいました。

大興奮で戻って来ては、早速取材先の魅力を伝えるべく記事作りにも燃えています。ここまで子どもたちは本当に活動を楽しみ、工夫し、様々な発見をし、自らの学びにも変えてきました。子どもたちは大人よりすごい！と改めて感じます。

私は子どもたちに「みんなを子どもと思ってないからな～！」と言いますが、今回のプロジェクトをひとつのきっかけにし、子どもたちの内発性を育みたいと考えています。自分たちの取材は遠足ではなく、大人がすべて準備し大人の後ろをなんとなくついて行けば何か与えられるという物ではありません。その中で「うまく行った」も「うまく行かなかった」も自分で発見する喜びを経験させてあげたい。小さな発見の連続から芽生える内発性を、無理に触ったり先回りし手を貸しすぎて腐らせないよう、かといって何も手を貸さないという事でもなく、大人チームは良い塩梅で『気づかせる』を大切にしています。

子どもたちの創造力・発想力・自主性・自立心の大きな成長を感じます。本人たちは気づいていないかもしれませんが、子どもたちそれぞれ自分たちの持つ力を超えてきています。



2023年6月5日（月）東住吉区長が教育プロジェクトにご協力くださいました。

子どもたちが作る地域情報誌プロジェクト、取材もの残り数件となりました。子どもたちは活動を心でも体でお楽しみ、工夫し、様々な発見をし、自らの学びにも変えてきました。そんな経験の機会を与えて下さった取材先関係者の皆さんには感謝申し上げます。

ます。本日は東住吉区の塩屋区長が教育プロジェクトにご協力下さり、取材をしました。子どもたち会議室の雰囲気に対し緊張しながらも、東住吉の話、お仕事の話、趣味の話、アニメの話などで盛り上がっていました。

考えてみれば初対面の方に「好きな食べ物は何か？」なんて、子どもにしか聞けない貴重な質問のような気がします。そして区長の好きな食べ物は〇〇だった！（記事をお楽しみにしてくださいませ♪）

子どもたちが感じた地域の魅力や、「おもしろい！」を形に出来るよう引き続き記事作りに努めます。



2023年6月6日（火）株式会社いわさきさんが教育プロジェクトにご協力くださいました。

子どもたちが作る地域情報誌プロジェクト、取材もの残り2件となりました。本日は『株式会社いわさき』さんが教育プロジェクトにご協力くださいました。工房はまるでレストラン！「めっちゃ美味しそう！食べられへんって信じられへんぐらい！」子どもたちは食品サンプル職人たちのデザインや制作を見学したり実際に体験したり！食品サンプルが出来上がる工程に目を輝かせていました。食品サンプルのおもしろさや、どう人の幸せの一役になっているかなど、感じた事を記事にしていきたいと思います！





2023年6月10日（土）子ども記者編集大作戦！完成まであと一歩！

6月活動日は子ども記者編集大作戦！子どもたち頭から煙が出るぐらい？頑張りました！キャッチフレーズ、レタリングデザイン、イラスト、子どもたちのアイデアが素晴らしくあふれる！

「ここにイラスト入れた方が良いな！」文章が苦手な子は得意なイラストで活躍したり、「文字をいろんなスポーツでデザインしてみた！」イラストが苦手でもデザインが得意だったり、「こんなキャッチフレーズはどう？」ふだん静かな子でも隠された才能が発揮されたり、子どもたちはみな自分の得意を見つめ、読者を想像して紙面をさらに華やかにしていました。

完成まであと一歩！最後の取材では『のがみ歯科医院さんが』教育プロジェクトにご協力くださいました。

1月から振り返ってみると、子どもたちは見違えるほど成長しました。創造力と言うありきたりなものだけではなく、なぜこんなに成長をもたらしたのか、ずっと観察して考えて行き着いた答えが、子どもたちは地域情報誌と言う1つの『メディア』を作っていて、地域と読者の間に居て『社会的な繋がりを自分たちが担っている意識』だと感じています。

完成した雑誌が全国に届き、例えば不登校やひきこもりの子どもたち、自ら命を絶つ選択をする子どもたち、悩みを抱える子どもたちが見た時、「子どもでもすごいことが出来る！」「僕も何か出来るかもしれない」と希望や勇気を与える事だって起こりえます。

自分たちの作った物が誰かに何か影響を与える、そんな体験や意識を持つ経験が、子どもたちに大きな成長をもたらしたのだと観察していました。大阪の作る子どもたちも全国の読んでくれる子どもたちも、将来大人になって困難や壁にぶつかった時、ふと『ひらめき』として何かの役に立つ、何かの力になる。子どもたちが作る地域情報誌が1つの媒体となり、地域を超えて日本の子どもたちすべての未来を繋げる。そんな1冊になるはずです。

さあ、来月7月で完成です！あとひと踏ん張り頑張りましょう！





2023年7月8日（土）第1期修了！才能や個性を見つけ輝かせた子どもたちの7か月！

子どもたちが作る大阪市の地域情報誌プロジェクト、本日第1期子ども記者最後の活動日です。

自分でも気づかなかった才能や個性を輝かせ自分の持つ能力を乗り越え続けてきた7か月。自分たちの持つ103%のレベルへの挑戦をし続けてきた子どもたち。創造する力、行動する力、そして地域の力を引き出し0から1を作り上げてきた子どもたち。「この子たちは本当にすごい！」あれこれ文字に表したとしても、この言葉以上は出てこない、そんな感想です。

「街の見え方が変わってきた」「最初ここまで自分でも出来るとは思っていなかった」「知らなかった場所や、知らなかった人にたくさん出会えた」「チームで協力しているんな体験ができて楽しかった」「僕たちでもこんなことが出来るんやって知った」などなど、最後一人ひとりの感想発表ではグッと泣きそうになりました。（完成発表会こそ泣いてしまうかもしれません）。

今日は最後の編集デザイン大作戦。どこが1番伝えたい部分か、どうすれば読者がイメージしやすい表現になるか、を考えたキャプションや原稿の補強に、自分らしさを表現したイラストにデザイン。それぞれ6個7個あるタスクを「目標の時間までに見事終わらせよう！」と計画的に使命感を持って、そして変わらず賑やかに！見事やり遂げ雑誌完成しました。

そして最後はお楽しみのピザパーティー！

これまで一緒にたくさんの体験をし遊び食事もしてきたこのメンバーで最後のお楽しみの時間です。遊んで食べてまた遊んでとパーティーピーポーで終了しました！

今から我々大人チームでもデザイン補強をし入稿します。9月大阪市東住吉区のどこかで完成発表会をしますので、皆様引き続きよろしくお願いたします。子どもたちもその日初めて完成した地域情報誌を手に入れます！





2023年9月16日（土）うっこと創刊！！完成発表会も笑いと感動の中幕を閉じました。

うっこと vol.01 創刊しました！1月から子どもたちが自分の力で街を取材し原稿を書き、デザインや編集をし完成させた大阪市の地域情報誌うっこと。9月16日完成発表会では区長はじめ取材先の方、地域の方、保護者やご支援頂いた方など総勢70名が駆けつけてくださり、子どもたちの活動の過程を共有し笑い泣き。

始まる前に子どもたち&保護者で修了式を行いました。この9か月間読む人を想像しながら、どうしたら面白くなるか魅力が伝わるかを考え想像し行動してきた子どもたち。そんな14人を見ていると涙腺が。泣くの我慢して声が詰まって何とか修了証を渡しました。そしてこの日初めて完成した雑誌を手にする子どもたち！

「すごすぎてまだ実感がないわ〜」「学校持って行こうかな？」「こうやって雑誌になると全然印象が違う」「こんなすごい事を自分たちでやったんやな…」感無量の様子で、緊張しながらTV取材も受けました。

いよいよ本番スタート、子ども記者の登場です！入場はもちろんお世話になった『影山ヒロノブさん』の曲です♪

自己紹介では緊張しながらもがんばって伝える子やアドリブを入れて会場の笑いを誘う子、そして高学年中心の活動のプレゼンでは1月から9月までの活動の過程を、自分の言葉でしっかりやり遂げました。

続いては取材を受けてくださった方から感想のお言葉。「なんとこの方がお越しくださっています。後ろの扉をご覧ください」ドラゴンボールZの曲が流れる中「まさか！？ほんま？影山さん？」ざわざわ。さすがにコンサート等でお越しいただく事は出来ませんでした。そんなドッキリの後はサプライズ！！なんと影山ヒロノブさんからビデオレターを頂き上映しました。子どもたちも大喜び、会場では特別にお父さん方も大興奮でした。

最後は一人ひとり感想をスピーチが会場の涙を誘います。話すのが苦手な子は自分の心の中にはちゃんと自分の言葉があるし、おちゃらける子はその中に気持ちが恐縮されてるし、上手く伝えられる子は自分の素直な表現です。どんな形でも自分の言葉と表現が最高です！

最後は区長から「何でもインターネットで出来る時代、現地に行って取材体験をし、その場所の匂いや味、空気感、人とのふれあい、そんなたくさんの経験をした子どもたちはとても人生において貴重で幸せだな〜と拝見しておりました」と、あたたかいメッセージを子どもたちは受け取りました。

自分たちの持つ、もしかしたら自分でも気づかない個性や才能を自ら乗り越え行った9か月。14人14色、まさにみんな違ってみんな良い最高のパフォーマンスで1冊の地域情報を完成させました。第1期お疲れさまでした！この子供たちはすごい！

うっこと vol.01 は地域の学校でも配布され、東住吉区内各地域で入手できます。ぜひ手に取って頂き笑っていただけたら嬉しいです。入手場所等は下記事務局にもお問い合わせくださいませ。



2023年10月24日（土）創刊後子ども記者多方面で活躍！第1期修了。

新曲を出せば、M ステに出て CDTV に出て、ライブツアーをして紅白歌合戦?! ぐらいの勢いで、子ども記者たちも雑誌創刊後は多方面で最後まで任務をやり抜きました。

まずは取材先『ヤンマースタジアム長居』『ボウケンノリ NAGAI』へ雑誌をお届け（他の取材先は大人チームでお届けに上がりました）。ボウケンノリ NAGAI では、「ぜひぜひもう 1 回遊んでってください〜！東住吉にこんな遊べる場所あるよってまた紹介しておいてね♪」と、ご厚意で少し遊ばせていただきました。取材で体験した時は一応“子ども記者のお仕事”だったのですが、今日は“普通の小学生”として思いっきり体験しました！

続いてはプレゼン大会 in ヤンマースタジアムに招待され出陣！今回は『雑誌うっこ』を知らない人にどう伝えるかがミッションですが、実は子どもたちにはぶっつけ本番で挑んでもらいました！話に上手い下手はありませんので、その方がより子どもたちのリアルな感想が聞けるのではないかと。その瞬間“考えた”と言う事が貴重なのですが、子どもたちは大勢の人の前でその瞬間瞬間自分の気持ちを丁寧に伝えとても素敵でした。出番が終わった後は、花より団子？みなで食事をして帰りました。

最後は東住吉区長へ表敬訪問。今日は区長室で「あそこが長居公園で、あの山が金剛山だよ」と景色も紹介してもらっていました。「またどこかで見かけたら“うっこ”の記者ですって声かけてね」と他の子ども記者にもよろしくとあたたかい言葉を頂きました。

第1期子ども記者お疲れさまでした！2024年第2期さらにおもしろく行きましょう！



子ども地域情報誌うつとこ大阪市事務局について

【子ども地域情報誌うつとこ大阪市事務局 概要】

所在地：大阪市東住吉区杭全 7-8-31 YOSIN 学院

代表：砂子賢太郎

電話番号：06-7162-1676

メールアドレス：yosin-gakuin@jcom.zaq.ne.jp

HP：https://yosin.sakura.ne.jp/colomaga.html



※後援：大阪市、大阪市教育委員会、ESD-j。

※子ども地域情報誌うつとこは、コロマガプロジェクト（全国 16 地域で）として展開しています。

※取り組みが評価され 2018 年キッズデザイン賞受賞、2023 年グッドデザイン賞受賞。